

HOSEI DAINI

HOSEI DAINI



EVENT

■二中文化祭・二高祭
10月24日(土)・10月25日(日)

■学校説明会 場所：法政二中高 木月ホール
中学校 ※HP上で予約する必要があります。

第1回 9月12日(土) 14:30～(予定)
第2回 10月3日(土) 10:00～(予定)
第3回 10月31日(土) 14:30～(予定)
第4回 11月21日(土) 14:30～(予定)

高等学校 ※HP上で予約する必要があります。

第1回 9月19日(土) 14:30～(予定)
第2回 10月10日(土) 14:30～(予定)
第3回 11月7日(土) 14:30～(予定)
第4回 11月28日(土) 14:30～(予定)

■帰国生対象学校説明会 場所：法政二中高 木月ホール
中学校・高等学校 ※HP上で予約する必要があります。
8月22日(土) 10:00～(予定)

■学校公開日
中学校・高等学校 ※HP上で予約する必要があります。
9月26日(土)

ACCESS

■JR南武線
「武蔵小杉駅 西口」下車 徒歩12分

■JR横須賀線(総武快速線・湘南新宿ライン・相鉄線直通)
「武蔵小杉駅 横須賀線口」下車 徒歩15分

■東急東横線(みなとみらい線・東京メトロ副都心線・東武東上線・西武池袋線直通)

■東急目黒線(東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道および都営三田線直通)

「武蔵小杉駅 南口」下車 徒歩10分
南武線・横須賀線・東横線・目黒線とも特急をはじめとした全列車が武蔵小杉駅に停車します。



出/会、(0)き/合、自/己を/つ/く/り。



法政大学
第二中・高等学校

SCHOOL GUIDE 2027



10年後、私は どんな自分になっているだろう。

教室やグラウンド、部活での**出会い**が
まだ知らない自分を教えてくれる。

うれしいことも、くやしいことも
まっすぐ**向き合い**ながら
身も心も少しずつ成長していく。

考えて、挑戦して、ときどきつまづきながら
歩く一歩一歩が
自分をつくる色になる。

法政第二で過ごす日々は
夢を見つけ、仲間と一緒に成長できる。
未来の私を想像すると、色んな扉が開いていく。



新しい自分をつくっていきこう

法政大学第二中・高等学校は、法政大学の付属校です。法政大学は、「自由と進歩」という考えを大切に、何ものにもとられない自由な発想で真理を探し求め、たくさんの人たちの幸福の実現と社会の進歩に役立てる人たちを育成してきました。また、法政大学憲章においては、「自由を生き抜く実践知」ということばを掲げ、「地球社会の課題解決に貢献すること」をその使命と捉えています。

法政大学第二中・高等学校は、この法政大学の付属校であるという特徴を活かしながら、多様な個性をもつ生徒たちが集い、多くのことをともに学び、ともに取り組み、互いに揉まれることで、もともと持っている力が引き出され、人間として成長していく、そういった学びを進めています。変化を恐れず、これまでの自分をこわして、新しい自分をつくっていきましょう。また、そのなかで自分の考えをもつこと、互いにそれを尊重し合うことを大切にします。そして法政大学での学びを見据えて、地球社会の課題解決に何らかの貢献ができるようになってほしいと思います。ともに3年間あるいは6年間取り組んでいきましょう。



法政大学第二中・高等学校
学校長 笠原 浩之

教育目標

01

人類および民族のあらゆる分野における歴史的・文化的遺産を体系的に学び取り、自然と社会・人間に対する認識を深める。

02

獲得した認識を総合し、自然との共生・諸民族の共同など、人類社会の持つ諸課題と向き合う視野を培う。

03

学ぶことの意味と喜びを知り、常に学問的好奇心を発揮し、生涯にわたって成長を遂げることができる土台を獲得する。

04

自己を客観化し、社会の中でどのように生きるかを考えることにより、一人一人が個性を獲得し、自分の生き方を自分で決める能力をつける。

05

自ら諸課題の解決・現状の変革を担おうとする自主的精神と互いを尊重し共同での取り組みができる自治的な能力を獲得する。

06

高い品性と社会性を身につけ、不正・腐敗を許さず、社会正義を確立する自律の力を獲得する。

法政第二 ならではの 学び



80年以上の伝統

本校は「自由と進歩」を建学の精神とする法政大学の付属校です。「自由と進歩」とは人類の普遍的価値である「自由」と、現代社会の多様な問題を解決しようとする「進歩」のことを指します。本校はこの建学の精神を受け継ぎ80年以上の歴史と伝統を築くなかで様々な分野で活躍する40,000名を超える有為な卒業生を輩出してきました。

出会い、 向き合い、 「自分」をつくる



新しい知、異なる他者、未知の自分との出会い

生徒一人ひとりが新たな「学び」を追求するために、探究型学習を支える図書館をはじめとした、充実した施設・設備を備えております。また中学生約670名、高校生約1,900名、合計約2,600名の生徒が通う本校では、特別なクラス編成を行わないため、様々な個性、新しい見方・考え方に会うことができます。このような学校生活のなかで生徒が互いの違いを認め合いながら成長することで、新しい自分を見つけることができます。

学問・自分・他者と真剣に向き合う

広い視野を持つためにも、すべての分野を幅広く学習し、基礎的な力を身につけることを大切にしています。日常のHRや授業では、多様な価値観をもつ仲間と討論や発表を重ねるなかで「健全な批判的精神」と「様々な諸課題の解決に向けて、仲間と共同する力」が育まれます。「自分は何をすべきか」「いかに生きるか」といった根源的な問いにも向き合うことは、将来の明確な目的意識を養うことにつながります。

「自分」を
つくる



興味・関心を掘り起こす

法政大学へは、学内成績と大学が求める外部試験において一定基準に達すれば、希望に基づき全ての生徒が推薦により進学することができます。大学受験を目的とする進路開拓ではなく「将来自分は何をやりたいのか」という視点でじっくりと進路を考えることができます。付属校であることを活かし、法政大学主催のイベント(ウェルカムフェスタ、ワンデーサイエンスカレッジなど)への参加、学部別講演会、卒業生による進路講演会など、自分の将来を具体的に考える機会も設けられています。



法政第二はどんな場所?





小さな発見が、
大きな力に

中学校での学び



高い学力の習得に向けて 一週サイクルの学習姿勢を確立

中高6カ年の土台作りとなる中学1・2年次は30名以下の少人数学級とし、生徒一人ひとりに目を配った指導を展開しています。基礎学力はもちろん、高校で活かせる高い次元の学力を獲得することを目指します。特に積み重ねが重要な英語と数学においては、全学年で週あたり2～3時間の分割授業を実施したり、1週間の授業を振り返り、学習内容を定着させていく時間を設定したりしています。



■理科実験
理科実験は1クラスに教員2人と
いうチームティーチングで実施。中
学3年間を通じて、1週間に1回必
ず実験を行い、考察をまとめます。



体験重視の教育プログラム —たくさんの体験が豊かな感性を確立—

中学生のうちは、知識の習得だけではなく、「書く」「話し合う」「試す」など、様々な体験を通じて学んでほしいと考えています。こうした機会が主体的に学習する姿勢を育み、「学ぶこと=楽しい」という実感を得ることにつながっています。

カリキュラム

第1学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)	英語定着	総合的な学習の時間	道徳	ホームルーム	
第2学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)	数学定着	英語定着	道徳	ホームルーム	
第3学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)	数学定着	英語定着	総合的な学習の時間	道徳	ホームルーム

単位数 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30



調べて、
話して、
伝える力



■選択授業

各教員が専門性をいかして講座を開く大学のゼミのような少人数の授業です。多種多様な講座の中から、生徒が自らの興味・関心や問題意識に応じて講座を選択し、より広く深く学習することができます。

全教科にわたる幅広い教育を身につける

大学受験にとられない本校は、受験科目だけを重点的に学習するのではなく、全教科にわたって基礎的教養を身につけることを大切にしています。これが各自の個性や特技を自覚することにつながり、進路の可能性を広げます。3年次から文系と理系に分かれます。

カリキュラム

第1学年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語(英語)	情報	総合的な探究の時間	ホームルーム
第2学年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語(英語)	家庭	総合的な探究の時間	ホームルーム
第3学年	文系	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	外国語(英語)	選択	総合的な探究の時間	ホームルーム
	理系		地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	外国語(英語)	選択		
		単位数		5	10	15	20	25	30		

高校での学び

主体性・共同性・総合性を意識した学び

本校の教科教育は知識を獲得することにとどまらず、知識を用いて「自ら論理的に思考し、他者に表現することができる力」の育成を重視しています。現代社会においては答えが1つでない複雑な課題を、他者と協力しながら解決していく能力が不可欠となります。高校生の段階から「自ら問題意識を持ち、その解決に向けて、他者との話し合いを通し、多様な視点から認識を深め、総合的な視野に立ってまとめていく」という作業を体験することが大切です。そのため、レポート課題や班で1つのテーマについて話し合う時間が多い点が本校の教科教育の特徴です。





世界を知って、
心をつなぐ



留学制度

本校の姉妹校であるニュージーランドのオレワカレッジとの間では年間留学制度、3ヶ月・7ヶ月の留学制度を実施しています(年間留学は学校からの奨学金あり、1ターム留学は現地校の学費免除)。また、夏休み中には3週間程度の短期研修も行っています。オレワカレッジで実施されるどのプログラムも希望制で、申込み者に対して、選抜試験を実施しています。また、その他の一般的な交換留学、私費留学で最長約1年間海外の高校へ留学することもできます。その際、一定の成績等の条件を満たせば、法政大学への被推薦権を保持したまま、留年せずに留学できる制度も整っています。毎年、多くの生徒が、世界各地の国々へとばたいています。



国際交流

国際交流委員会

国際交流委員会では、毎年世界各地から5名ほどの短期留学生や年間留学生を受け入れています。また、留学生の歓迎行事や様々なイベントも行っています。さらに、オンラインによる海外との交流、留学から帰国した生徒たちによる留学体験報告会、海外の大学生による講演会なども行っています。国際交流委員会では、生徒たちが主体となり、毎年新しいイベントを企画し、行っています。国際交流室には日々、中学生、高校生、留学生、留学から帰ってきた生徒が集まり、楽しい交流の場となっています。





違いをそのまま、
認め合える



学校生活 について



生徒が主役

学校は生徒一人ひとりの教育要求の実現の場でもあり、クラス、班、クラブなどにおける一人ひとりの積極的な意見、活発な討論によって豊かなものへと発展していきます。本校は学校生活を生徒が協力し創りあげる、「生徒が主役」の学校です。様々な活動に取り組む中で、それらの活動の質を高め深化させるとともに、民主的組織運営の手法を学びとり、主体性や共同性を育てていきます。

話し合いを大切にした組織づくり

「集団での話し合い」を大切にする本校は、その基礎作りから集大成まで各学年で様々な行事を実施しています。クラスの結束力や集団力を高め、生徒たちは互いの理解を深めていきます。

中1校外授業と高1新入生合宿では、中・高校生としての基本姿勢の定着や豊かな人間関係の形成と集団づくりを主なテーマとし、講義や生徒同士の討論、班活動、スポーツ活動などに取り組みます。中3総合の授業の一環である「広島山陰研修旅行」、高2「沖縄修学旅行」では、現地での体験や事前・事後学習を通して今の社会に存在する課題に向き合い、「平和から自己を見つめなおす」取り組みに重点をおいています。

相談室について

「ほっとすルームKIDuki」という名称で、校内に相談室を備えています。専門のカウンセラーが対応し、自らの心の状態に気づき、向き合う力と共に、相談できる力を育む環境を整えています。





話してつくる、
学びの場



生徒が創る 学校行事



体育祭

中高ともに生徒会を中心として生徒たちが協力して創りあげます。中学では団・クラス・委員会・部活動など、様々な集団が協力しながら準備・運営をする中で、生徒会活動が「どのようなものか」を学んでいきます。高校では毎年、スローガン、競技種目決定の段階から生徒が話し合い、当日の運営・表彰に至るまで、全てを生徒自身が行います。

二中文化祭・二高祭

本校の文化祭は各企画団体が決定した文化テーマのもとに、日頃の活動成果を学内外に発信する場となっています。劇、歌、ダンスなど表現する企画が多いことも特徴です。企画作りは、企画代表者がリーダーシップを発揮して意見をまとめ、入念に時間をかけて協力しながら創りあげます。中高同時に開催しており、クラスの発表以外にも文化部の発表、体育部の公開練習、外部団体による出店などがあります。





仲間と共に、
成長する



自主活動



旺盛な生徒会活動

生徒会では、豊かな学校生活に資する「学力」「体力」「品性」「生活の向上」「文化・スポーツ要求の実現」を主な目標として掲げ、生徒一人ひとりが主体的に様々な活動を行っています。特に部活動は生徒会の中に組織され、「民主的なクラブ運営」を大きな柱として、生徒の自主・自律の精神を育みます。中高ともに入部は任意ですが、多くの生徒がいずれかの部活に所属し、活発に活動しています。



◎体育部(28クラブ) 募集種別(入部可能は●)

no	部名	高男	高女	中男	中女
1	アメリカンフットボール部	●			
2	空手部	●	●	●	●
3	グラウンドホッケー部	●			
4	剣道部	●	●	●	●
5	硬式野球部	●			
6	ゴルフ部	●	●		
7	サッカー部	●			
8	柔道部	●	●	●	●
9	重量挙げ部	●	●	●	●
10	水泳部 ※1	●	▲	▲	▲
11	スキー競技部 ※2	●	●		
12	ソフトテニス部	●	●		
13	体操部	●		●	
14	卓球部	●		●	
15	テニス部	●	●	●	●
16	軟式野球部 ※3	●	△		
17	男子バスケットボール部	●		●	
18	バドミントン部	●	●		
19	男子バレーボール部	●		●	
20	ハンドボール部	●		●	
21	フェンシング部	●	●		●
22	ラグビー部	●		●	
23	陸上競技部	●	●	●	●
24	女子バスケットボール部		●		●
25	女子バレーボール部		●		●
26	チャリレーディング部		●		●
27	中学サッカー部			●	
28	中学野球部			●	

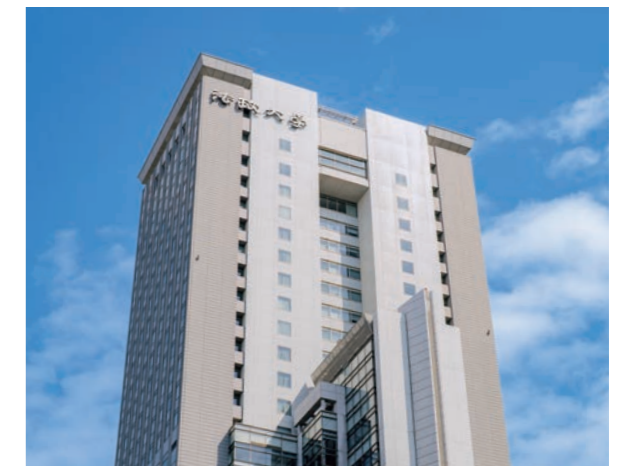
◎文化部(21クラブ) 募集種別(入部可能は●)

no	部名	高男	高女	中男	中女
1	映画研究部	●	●		
2	英語部	●	●		
3	演劇部	●	●		
4	音楽部	●	●		
5	化学部	●	●		
6	カメラ部	●	●	●	●
7	社会科学歴史研究部	●	●	●	●
8	囲碁将棋部	●	●	●	●
9	吹奏楽部	●	●	●	●
10	数学研究部	●	●		
11	生物部	●	●		
12	地学部	●	●		
13	鉄道研究部	●	●		
14	文芸日本古典研究部	●	●		
15	美術部	●	●	●	●
16	物理部	●	●		
17	放送部	●	●	●	●
18	合唱部	●	●	●	●
19	家庭科部		●		●
20	茶華道部	●	●	●	●
21	中学科学部			●	●

クラブ数、募集種別ともに2025年度のもので、2026年度以降については変更の可能性もあります。
 ※1 水泳部の▲については個人的にスイミングスクールに所属していることが入部条件となります。(活動環境の保障のため)
 ※2 スキー競技部は2025年度から中学募集停止。2028年度から高校募集停止予定。
 ※3 軟式野球部の△は入部は可能ですが、試合には出られません。
 ※4 本校の部員として大会・コンテスト等に参加できるクラブは、記載されているクラブのみとなります。中高・男女の募集種別をご確認ください。



「自由と進歩」で、
未来を描く



法政大学



有資格者全入制度

有資格者全入制度とは、法政大学への進学を希望する生徒で、日常の成績が一定基準に達し、法政大学の指定する英語の外部試験(TOEIC Bridge®等)で一定の成績を修めた者は、希望に基づき全員法政大学のいずれかの学部・学科に推薦されるという制度です。

法政大学推薦実績 2025年度 卒業生

●法政大学推薦実績(学部別)		●法政大学推薦実績(学部別)	
学部名	学部計	学部名	学部計
法学部	75	スポーツ健康学部	17
文学部	61	情報科学部	12
経済学部	83	デザイン工学部	25
社会学部	63	理工学部	45
経営学部	73	生命科学部	19
国際文化学部	24	グローバル教養学部	9
人間環境学部	31		
現代福祉学部	14	法政大学推薦者計	578
キャリアデザイン学部	27	卒業生総数	630



藤目 真輝
2024年度卒業
理工学部機械工学科

人を育てる6年間

私は中学から高校までの6年間を、法政二中高で過ごしました。高校では生徒会の運営に携わり、副会長として学校全体の意思決定に関わりました。法政二中高の特長は、自由な校風の中で「自分たちで学校をつくる」経験ができることです。意見を出し、議論し、形にする。その一つひとつが、生徒の当事者意識と責任感を育てます。手厚く管理される環境とは異なり、法政二中高では生徒の判断が尊重されます。その分、失敗も成功も自分のものになる。だからこそ、考える力と他者と向き合う力が自然と身につきます。この6年間で培った主体性と対話力は、卒業後も確かな軸となり、自ら進路を切り拓く力として今も生きています。



橋本 桃華
2024年度卒業
人間環境学部人間環境学科

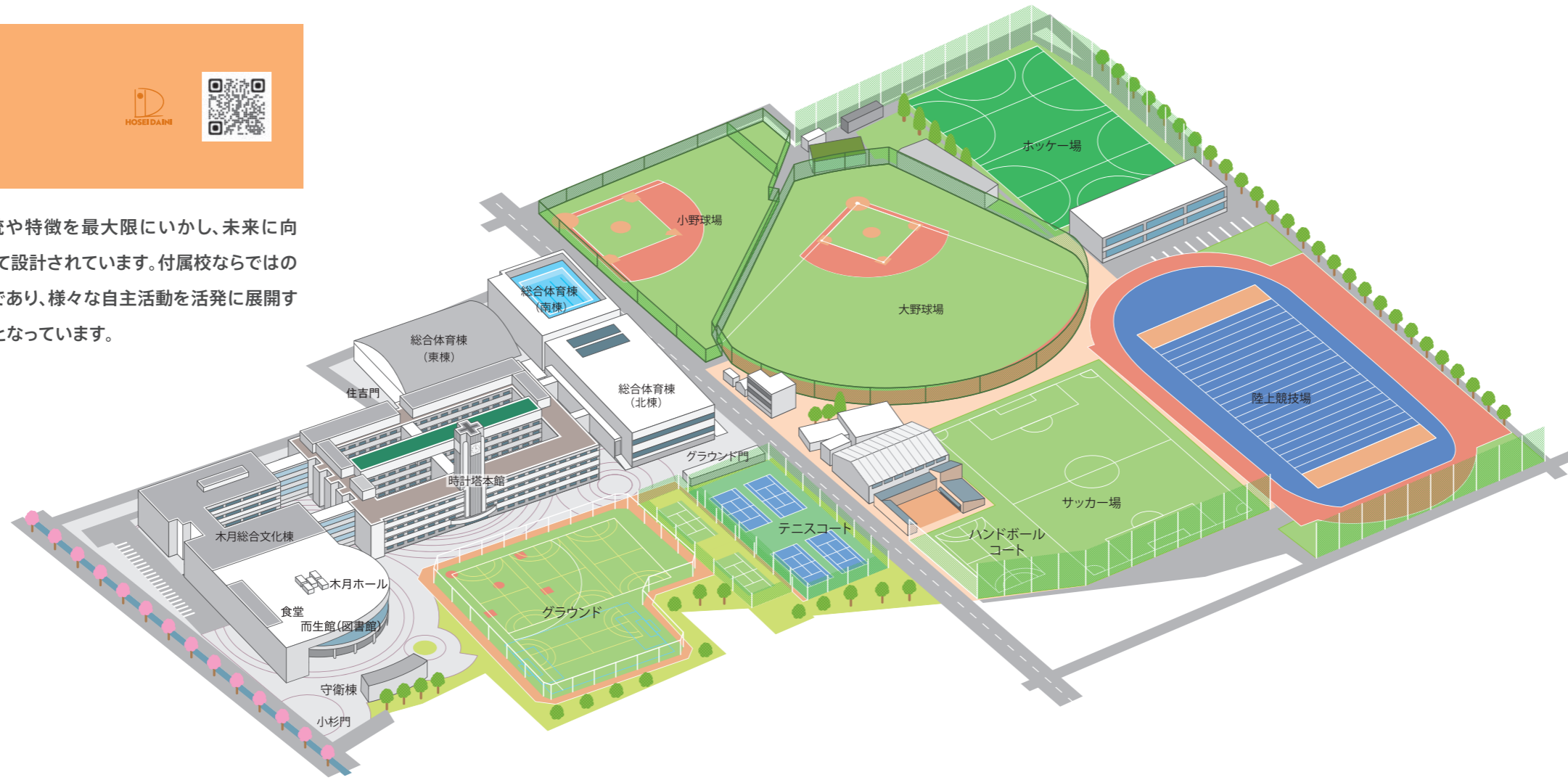
二高の自由が育てた自分を咲かす力

法政二高には何事も生徒主体で進める自由な校風があり、個々の「やりたい」という意欲を尊重してくれます。校内にはスポーツや勉強など様々な分野で強みを持つ人が多く、常に刺激を受ける環境でした。先生方は生徒の自主性を大切に見守り、手厚く支えてくださるため、地学部初の女子部長としての工夫や、文化祭の企画責任者といった挑戦に全力で取り組むことができました。こうした試行錯誤の中で身につけた、どんな場所でも自分らしく努力し「自分をそこで咲かせる力」は私の大きな財産です。法政二高で培った主体性を持って多様な仲間と高め合う能力は、卒業した今でも様々な場面で自身の可能性を切り拓く力として生きていますと実感しています。

施設紹介



キャンパスは、本校の伝統や特徴を最大限にいかし、未来に向かって発展できる場所として設計されています。付属校ならではの「学び」を追求できる環境であり、様々な自主活動を活発に展開することができるキャンパスとなっています。



様々な学習や
自主活動を支える
教育環境



グラウンド



トレーニングセンター



総合体育館



南棟体育室



学習ラウンジ



而生館(図書館)



食堂



陸上競技場



木月ホール



サッカー場